

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年12月22日（火）午後7時30分～9時
会場	美原町公民館
地域座談会の内容（意見交換の内容等）	
<p><b>① 幼児や小学生の低学年が病気になると、学校に迎えに来てほしいと連絡が来ることがあり、保護者が困っているということを耳にすることがある。病気になった場合に預かってくれる施設の整備についてどのように考えているのか。</b></p> <p>→ 保育所等に通っている子どもが病気になったとき、親が仕事を休めない時には親が変わって病気の子どもの世話をするという病児保育のことだと思いますが、寒河江ではやってないので、いずれ整理していかなければならない分野と考えています。病気は治っているものの、まだ本来の状態に戻っておらず、普通の保育メニューを受けるのが厳しい回復期の子どもを親が変わって世話をするという病後児保育について、今年度から、さくらんぼこども園で行っております。病児保育には小児科の充実が必要と考えますが、少子化等により小児科は少なくなってきており、西村山郡全体での連携を図ることも必要と考えます。</p>	
<p><b>② 企業誘致の具体的戦略として、寒河江市出身者が社長等を務める企業に誘致活動を行って、雇用の場を確保して人口減少に結びつけていただきたい。</b></p> <p>→ 工業団地は埋まってきているが、物流関係の企業などの進出で、雇用に結び付く大きい企業の誘致はできていない。寒河江ゆかりの人や立地している企業をなどからの伝で、新しい企業の誘致活動の充実を図っていかなければならないと考えています。</p>	
<p><b>③ 農業をやっているのは高齢者が多く、若い人は勤めで、農業をやっている人はほとんどいない。昔は、兼業農家として労働力も確保されていたが、今は農業をする人がいないので農地を整理してほしいという人が多いのが実態である。全国的に問題となっているが、寒河江市でどのような対策を考えているのか。</b></p> <p>→ 耕作者が高齢化し、若い人たちが後を継がないことで、田畑が耕作放棄地となることは、現実的に多くなっています。</p>	

対策としては、

- ・新規就農者を増やすことがあります。就農のために国の援助を活用し、資金的援助を行うことや、技術習得のための援助を行っていく。
- ・耕作できなくなった方の農地を集約、大規模化し、法人化して若い人を雇いながら行うなどの魅力ある農業を展開することで、若者の働きやすい形態を作っていく。
- ・紅秀や、つや姫など誇れる農産物をさらに伸ばしていくことが必要です。台湾やマレーシアなどに輸出していますが、防除などの経費かかってくるため、品質の良いものを作り、高く買ってもらう必要があります。
- ・つや姫は、つや姫ビラージュを拡大し、市内に何箇所か分村を作り、高値で取引してもらう取組をしていく。東京で取り扱ってもらうようになりましたが、量的にまだ足りない。量が確保できないとブランドとして成り立たない。
- ・若い人を支援し、新規就農者を増やし、ロットの大きい組織的な農業ができるような取組を行い、さらに、ブランド化を進めていくことが大事だと考えております。

- ④ 美原町は最上川ふるさと総合公園の表玄関と思っていますが、防犯灯もなく非常に暗い。長生園のほうが明るい。防犯灯の設置をお願いしたい。落衣側の街路灯が道路側でなく、反対を照らしているので暗くなっている。また、ゴミの簡素化していただき、処理が楽になりました。ありがとうございます。

→ 美原町のほうが明るいと思っていましたが長生園のほうが明るいということなので、できれば、雪まつりまでということも考えていきたい。

防犯灯なので、犯罪の防止の意味からも通学路を優先して設置しており、そういうことから遅れたところもあるので、きちんと受け止めさせていただきます。

ゴミの分別については、1市3町でやっており、寒河江市だけの考えでは進められず、他の町の下承がないとできない。今回は簡素化に対する施設整備について下承を得たのでやることができました。ご理解いただきたい。

- ⑤ 遊歩道の草刈りを、市のほうで年に1回か2回やっている気配があるが、6月頃も行い年3回はしてほしい。やるときには連絡をもらい、一緒にすることを考えてほしい。

除雪の時間帯について、出勤時間帯の前の5時前頃に除雪をお願いできないか。また、高齢者の自宅前にはなるべく置かないようにしていただきたい。

→ 遊歩道や公園の樹木などの伐採については、もっと頻繁に行うことが必要という声もあり、来年に向けて予算を充実させていく必要があると考えます。

また、町内会の方からも立ち会っていただき、指示をしていただくなど効果的な伐採が必要と考えます。

除雪については、前は4時頃からだったのですが、今は3時半頃から状況を確認し行っている。早くは行うことはできますが、あまり早いとうるさくてだめだという声が街中ではあるようで、検討していきたいと考えます。

高齢者や一人暮らしの家の前には、なるべく置かないように心掛けています。また、災害など、何かあった時に避難しなければいけない人が800名程います。そういう方の家の前などは分かるので、丁寧に除雪するように指示をしています。

**⑥ ふるさと納税で、返礼品を送るときに、観光振興から観光パンフやホテルの割引券、慈恩寺の拝観券などを一緒に送ってはいかがでしょうか。**

→ 米やラ・フランスなどの農産物を送るときに、観光パンフも送っていますが、量が多いと農協などから送ってもらっているの、入らない時もあります。また、納税額のコースの中には宿泊券などもあります。慈恩寺の拝観権などもサービスのメニューに加えるなどを考えていきます。

他市では、パソコンなども返礼品としており、寒河江でもそのようなものがないか考えていきます。

**⑦ 寒河江は、テレビや新聞などにあまり出なく、目立たないという声がある。子育て支援などよその町に負けない制度をやっているが、他市ではNHKや新聞などで大々的にPRしている。寒河江も広報活動に力を入れてほしい。市でやっている政策など、市報を使い市民に知らせてほしい。**

→ 市では新しい振興計画を策定中で、行動計画がまとまってくれば、具体的に情報発信もできるようになってくる。ソフト面やハード面も、子育てはじめ道路の整備などについて知らせられるようになりますが、計画策定中のため、まだ発信ができない状況で、3月までお待ちいただきたい。